

# 評価指標

スループット	←販売を通じて <b>お金</b> を作り出す割合	←入ってくる <b>お金</b>
在庫、インベントリー	←完成品、仕掛品、原料、作りかけの部品etcを含む	
	販売しようとする物を購入するために投資した全ての <b>お金</b>	←溜まっている <b>お金</b>
作業経費	←在庫をスループットに変えるために費やす <b>お金</b> 、在庫の維持コスト	←出ていく <b>お金</b>

スクラップ→「作業経費」、廃棄業者に売れるのであれば「在庫」

投資した機械が残っている場合→ 売れるので「在庫」

工場全体が「投資」→ 売ることができる「在庫」

従業員の時間(直接労働、間接労働、作業していない時間、作業している時間など)→ 全て「作業経費」

機械の減価償却費→ 「作業経費」

機械に潤滑油を塗ること→ 売らないので、「作業経費」

在庫の維持コスト→ 「作業経費」

知識、特許、技術ライセンス→ スループットに変えることができれば、「作業経費」

## 「ザ・ゴール」での問答 その2

黒字 : アレックス(ユニコ社の工場長)  
緑、青字 : ジョナ(物理学者、アレックスの恩師)

作業員が手を休めることなく常に作業している工場は、非常に非効率である

工場には、余分な人間はいない

仕掛品や部品の余剰在庫はないか？

もちろんあります

たくさんあるか？

けっこうたくさんあります

余剰在庫の原因は、人が多過ぎるからだ

人が足りなくて、すかすかなのですが。

工場の生産能力をどう管理しているかを調べる必要がある。目標に沿った方法でないはず

世の中のメーカーは、需要と生産能力のバランスを目指している→ 減らすことができる能力を減らして、使われていないリソースがないように、みんなが常に働いているようにしている

どうしてバランスがとれた工場の実現ができないか？

いつも条件が変化しているから(部品に欠陥が見つかる、従業員が欠勤する、品質を気にしない、市場が変化)

バランスがとれた工場に近づくほど、倒産に近づく ← ?